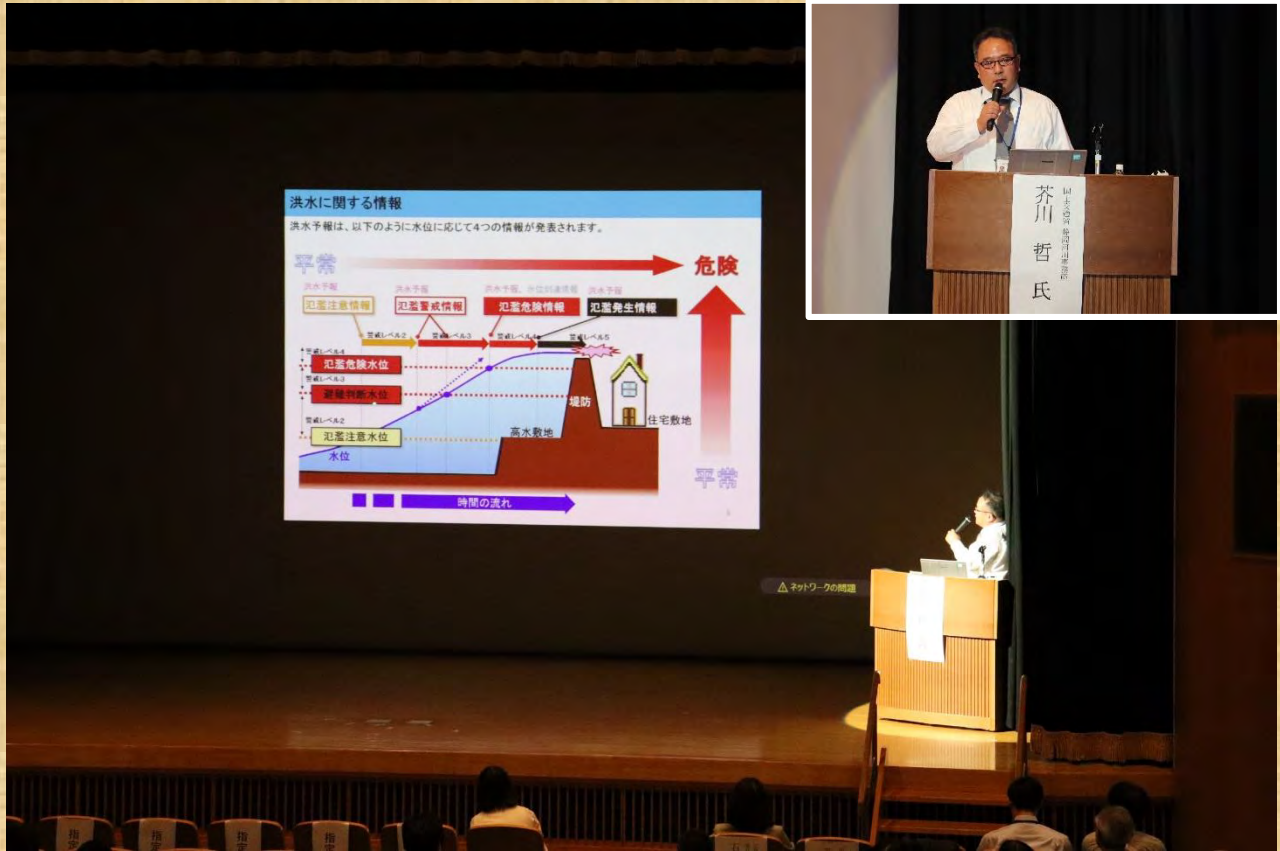


ケアマネジャーへの 水防災講習の実施

10月19日(土)、静岡県男女共同参画センターあざれあにて静岡県介護支援専門員協会等が主催の「風水害対策を考える」講習会の中で大規模氾濫減災協議会として講習を行いました。「逃げ遅れゼロに向けて」と題して、河川情報の取得などについて、説明をしました。当日は、156名の参加がありました。高齢者等と接する機会の多いケアマネジャーに水防災知識を伝えることで高齢者等の適切な避難につなげることが目的となります。

講習会の様子(講師:芥川地域防災調整官)



※ケアマネジャーとは、介護や支援を必要とする人が介護保険制度を利用して自立した生活を送れるようサポートする仕事です。正式名称は「介護支援専門員」と言います。

ハザードマップを有効にしましょう

いざという時に正確に避難できるよう、自宅からハザードマップを印刷して、自宅や職場・学校周辺などの災害リスクや、避難場所、経路などを把握しましょう。

国土の防災に役立つ情報を閲覧できるポータルサイトを公開しています。

避難するハザードマップ

洪水の恐れがある場所や土砂災害の危険がある場所など、防災に役立つ情報を地図に重ねて表示できるハザードマップです。指定した地域の自然災害リスクをまとめた図表もご覧いただけます。

おわがまちハザードマップ

各自治体が作成したハザードマップを、地図や災害情報から簡単に検索・表示することができます。

静岡県河川事務所
大規模氾濫減災協議会
http://www.drrn.jp/

**「知る」ことで
命を守る。**

災害から自分の命を守るためには、災害に対する心構えや知識、備えが重要です。

これらも災害への備えです!

- 1 避難場所や避難経路を確認する
- 2 避難用品の準備
- 3 避難訓練の参加

目標は命を守る。

5段階の警戒レベル

「自分の命は自分が守る」という意識を持って行動を主体的に理解しやすくなるよう、5段階の警戒レベルを詳しく防災情報のみなさんに伝えられます。自分の判断でその時点で、最善の命を守る行動をとります。

警戒レベル	避難行動	避難場所
警戒レベル5	避難行動を要する状況に陥る可能性がある。避難行動を要する状況に陥る可能性がある。	避難行動を要する状況に陥る可能性がある。
警戒レベル4	避難行動を要する状況に陥る可能性がある。避難行動を要する状況に陥る可能性がある。	避難行動を要する状況に陥る可能性がある。
警戒レベル3	避難行動を要する状況に陥る可能性がある。避難行動を要する状況に陥る可能性がある。	避難行動を要する状況に陥る可能性がある。
警戒レベル2	避難行動を要する状況に陥る可能性がある。避難行動を要する状況に陥る可能性がある。	避難行動を要する状況に陥る可能性がある。
警戒レベル1	避難行動を要する状況に陥る可能性がある。避難行動を要する状況に陥る可能性がある。	避難行動を要する状況に陥る可能性がある。

避難のための情報入手

発令された避難情報は、テレビラジオ放送、緊急速報メール、自治体の防災無線・防災メール、夜間・消防団の広報車、自主防災組織の口頭連絡などによりみなさんに伝えられます。

情報の伝達系統図

自治体から避難情報が発令された場合、自治体の防災無線・防災メール、夜間・消防団の広報車、自主防災組織の口頭連絡などによりみなさんに伝えられます。